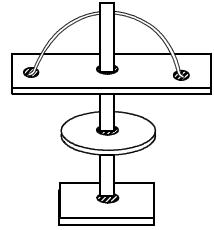


火おこし



■活動場所と所要時間

- テラス 他 約1.5時間
・スピカやつどのの広場など、様々な場所で活動可能です。

■持ち物

- 利用の手引き『夢のアトリエ』にある「団体でご準備ください①」をご参照下さい。
・けがややけどの防止のため軍手が必要です。
・火おこしに必要な道具一式（マイギリ式火おこし器など）は貸し出します。
・救急箱は各団体でご準備ください。

■活動の実際

①担当スタッフのレクチャー（説明）

- ・スタッフが、マイギリ式火おこし器の使い方や火おこしの手順、注意事項について説明します。
- ・スタッフから道具一式を受け取り、火おこしの準備をします。

②火おこし開始

- ・説明にしたがって火おこしをします。

〔火おこしのポイント〕

- ・ロープが伸びきる少し手前で力を抜くと、反動で自然にロープが芯棒に巻き付きます。これをゆっくり繰り返すと連続回転ができます。
 - ・少しすると焦げた匂いがしてきて、薄い煙が上がり始めます。ここではまだ芯棒はゆっくり回します。
 - ・煙が濃くなり始めたら、力を加えて速く回転させます。
 - ・板にできた火種を麻ひもをほぐしたもので包み、取り上げて息を吹きかけながら火種を大きくしていきます。
 - ・火がおきたら、ろうそくに移します。
- ・グループ内で役割分担をしたり、交代したりしながら取り組めるようにご指導ください。

③火おこし終了

- ・火おこしの道具をスタッフに返却します。
- ・活動場所の掃除をします。
- ・おこした火を野外炊飯で使用する場合は、火が消えないよう番をします。（提灯を貸し出します。その中にろうそくを入れて火を保ちます。）

■活動にあたって

- 野外炊飯と組み合わせることで、より効果的な活動になります。（自分たちでおこした火を使って野外炊飯をする等）
- 横棒を上下している時に顔を近づけてけがをしたり、火種から火を大きくする際にやけどをしたりすることがあります。巡回しながら、安全指導をお願いします。
- 使用した道具の後片付け、活動場所の清掃をお願いします。

■事前打ち合わせ会で

- 晴天時は屋外の様々な場所で活動することができますが、雨天時は屋根のある場所（テラス、スピカ等）で活動します。雨天時の活動場所についてご検討ください。
- 道具の数に合わせたグループ編成をしていただきます。道具の数については、スタッフにお問い合わせください。